

「2017年世界経済の展望」に関する懇談会

開催日：2016年12月15日(木) 場所：経団連会館

来賓：フローリアン・コールバッハ

「ザ・エコノミスト・コーポレートネットワーク」北東アジア編集ディレクター

経済広報センターは2016年12月15日、英国のザ・エコノミスト・グループで、世界政治と経済分析・予測を専門とするシンクタンク「ザ・エコノミスト・コーポレートネットワーク」のフローリアン・コールバッハ北東アジア編集ディレクターを招き、「2017年世界経済の展望」と題する懇談会を開催した。コールバッハ氏は、好調な米国経済と新興国経済の持ち直しにより、2017年の世界経済は前年比0.3ポイント増の2.5%成長を達成するとの予想を披露する一方で、「企業経営者は英国の欧州連合離脱問題(Brexit)やトランプ新政権の動向とその影響を注視していく必要がある」と発言した。

特にBrexitについて、「今後の展開が予測し難い」としながらも、今年実施されるドイツなど主要国での選挙結果を踏まえつつ、「日本企業は欧州市場の将来を展望した経営戦略を立案・実施しなければならない」と述べた。米国のトランプ新政権については、TPP離脱や「オバマケア」の廃止等、選挙戦で示された施策の実現可能性を見定める必要性を指摘した。

日本経済については、「2017年の実質成長率は0.5%で成長力不足」との見方を示したものの、「アベノミクスの効果が出ていることも事実であり、今後、更なる構造改革に期待する」と発言した。

以上

